

出版情報

書名・件名	厚生白書(平成元年版)
副書名	長寿社会における子ども・家庭・地域
編集者・監修者	厚生省
所在地	東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
国名	日本
郵便番号	100-0013
電話番号等	03(3503)1711

はじめに

いよいよ1990年代を迎え、新しい世紀の始まりまで、あと10年余を数えるところまで来た。その21世紀初頭には、我が国は65歳以上の高齢者が人口に占める割合が16%を超える本格的な高齢社会を迎えることとなり、それまでの間、毎年、高齢者が65万人ずつ増加するという時代になっている。

このような高齢社会の到来に対応するため、これまで社会保障の分野では、老人保健制度の創設から今回の年金制度改正に至るまで、相次いで制度の整備や改革が進められてきたところである。今後ともこれらの制度の充実や安定のため変化に応じた対応が必要であるが、同時に精神的豊かさや、安心、「生活の質」を求める国民の新しいニーズに積極的に対応し、質の高い福祉社会を実現するためには、社会保障制度の方向も、今後の国民生活の動向を踏まえて、総合的な展開を目指す必要がある。なかでも、福祉サービスは喫緊の課題であると考えられる。

このような観点から、国民生活全般をみると、人が生まれ、育ち、働き、老いを迎える生活の基本的な場である家庭の姿や21世紀を担う子どもの問題について、最近、これまでにない変化が生じているのではないかと関心が持たれている。そこで、今回の白書は、子どもと家庭の問題について、その変化の内容と将来への影響について検討を加え、これからの福祉に必要な新たな視点を求めたものである。今後、子どもが健やかに生まれ育ち、高齢者が安心して生きがいを持って暮らせるために、家庭を支援する必要性が高まるとともに、地域の役割が改めて見直されることが必要になってくるものと考えられる。
